

三豊市女性活躍推進事業【香川県三豊市】

地域の実情と課題

- M字カーブ(30代前半で80%以下になる)
- 女性就業者の従業上の地位(正規職員42.4%にとどまる)
- 女性の就業率(20代～50代まで 20～30%未就業)
- 女性の管理的職業従事者(0.8%にとどまる)

今後、人口減少や高齢化による人手不足が見込まれる中、女性の働きやすい環境づくりが急がれる。また、地域での女性の管理職への登用はまだまだ進んでいない現状がある。

事業の特徴

第1部のパネルディスカッションでは、「三豊市で取り組める女性活躍推進とは」をテーマに、市内企業代表者3名及び市長がパネリストとして意見交換を行った。

事業の効果

アンケートの結果からは、「女性活躍推進」について「理解できた」83.3%、「男女共同参画社会」について「理解できた」79.2%という結果になった。また、シンポジウムの前後では、「女性活躍推進」が52.7%の理解度増加、「男女共同参画」については42.6%の理解度増加となり、女性活躍推進にポイントを置いたシンポジウムのねらいは達成できた。

目的・目標

昨年度策定した第3次プランは、女性活躍推進法に基づく推進計画としても位置付けており、重点施策の一つとして「男女の働き方改革」を掲げた。

本事業は、家庭・地域生活と職業の両立支援や男女の人権が尊重される社会の実現に向け、女性活躍への理解促進を図ることを目的とする。

【数値目標】女性活躍推進シンポジウム 参加者650人

【実績】参加者 470人

数値未達成だが、10代～70代の幅広い年齢層からの参加があった。また、アンケート結果からは、参加者の満足度の高さがうかがえた。

連携団体

【連携体制の名称】

三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議

三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 等

【内容】

現在28団体が登録する三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議に、このシンポジウムを通して、新規団体の登録も促します。

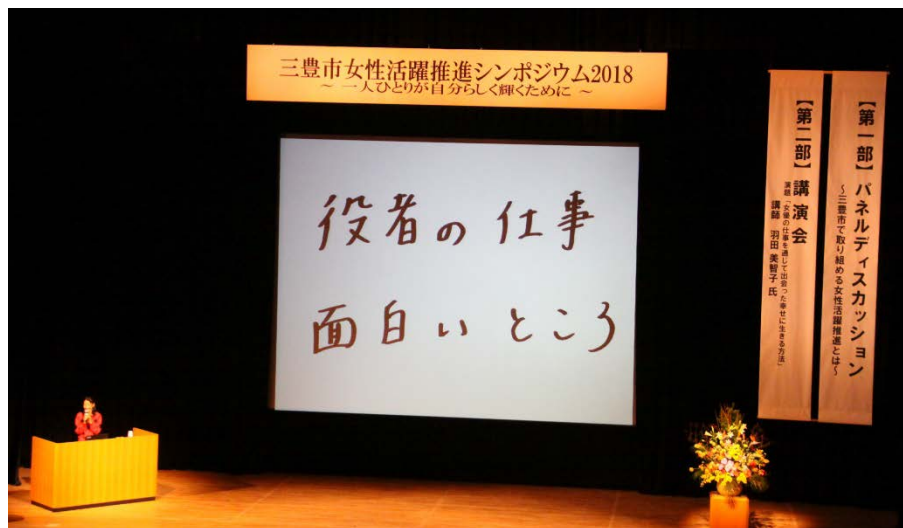
また、推進協議会や民間事業所等に参加いただきパネルディスカッションを行った。

今後の課題

アンケートの結果では、参加年齢層では、60代が32.9%、70歳以上が42.1%と8割程度が高齢層であったことから、今後は、20代～40代の参加が増えるよう講師選定していく必要がある。

事業の概要

【三豊市女性活躍推進シンポジウム】



【事業内容】

女性活躍推進法に謳われる「女性の職業生活における活躍」はもとより、三豊市第3次男女共同参画プランにかかげる「一人ひとりが自分らしく輝くために」という基本理念の市民への浸透を図った。



①第1部 パネルディスカッション

「三豊市で取り組める女性活躍推進とは」をテーマに、市内企業代表者3名及び市長がパネリストとして意見交換を行った。

②第2部 講演会

女性活躍推進の考えを理解し、女性活躍のロールモデルとなりうる人物として、女優の羽田美智子さんを講師としてお招きし、講演会を行った。

③啓発グッズの配布

女性活躍推進に特化した啓発グッズとして、「女性活躍推進」のキーワードと、「三豊市男女共同参画推進」のロゴマーク入りのメモ帳を作成し、シンポジウム開催当日に配布したほか、市役所窓口等で配布した。

【開催日時】 平成30年11月23日(金)

【第1部パネルディスカッション】午後1時30分～ 【第2部講演会】午後2時10分～午後3時40分

【開催場所】 マリンウェーブマーガレットホール 【参加人数】 470人